

I C T支援業務委託
提案依頼書（R F P）

平成30年1月25日

浦安市 教育総務部指導課 教育研究センター

1 背景・目的

本市では、教職員の授業におけるタブレット端末やICTの活用実践力を高めるとともに児童・生徒の学力向上を図ることを目的に、学校教育におけるさまざまな場面でのタブレット端末やICTの活用についてのサポートを行ってきたところである。

今後、教育の情報化が進む中で、児童生徒の情報活用能力の育成や教職員のICT活用実践力をより一層高めていくことをサポートするものである。

2 履行場所（別紙1「学校一覧」参照）

市立小学校17校・中学校9校、教育研究センター、指導課

3 履行期間

契約締結日の翌日から平成31年3月31日まで

4 参考（平成29年度実施内容）

4.1 学校の授業におけるICT活用サポート

ICT支援員を各校に派遣し、授業におけるICT活用のサポートを各校年間11日実施した。

4.2 タブレット活用推進モデル校におけるICT活用サポート

ICT支援員をモデル校3校に派遣し、タブレット活用のサポートを行うとともに、浦安市におけるタブレットの活用推進の支援を各校週2日実施した。

4.3 集合研修

各学校への派遣日の中で、導入ソフトウェアや電子黒板・プロジェクタ等周辺機器の活用に関する集合研修を行った。また、タブレットモデル校においては、授業におけるタブレット端末活用の研修を実施した。

4.4 夏季ICT活用講座

教育研究センターが実施する希望研修「夏季ICT活用講座」の運営（計画・準備・当日の研修）を実施した。

5 課題

次の(1)～(4)の内容を実現することが課題である。

- (1) 市内小中学校におけるICTの活用（全ての学校、教員、教科での活用）がより一層推進されること。
- (2) 本市で導入しているデジタルコンテンツや指導者用デジタル教科書のより一層の活用を図ること。
- (3) 児童・生徒の情報活用能力の向上を図るため、ICTの積極的な活用を推進するこ

と。

- (4) 平成29年度に各小学校へWindowsタブレットを40台、各中学校へiPadを学校規模に応じて配付した。それに伴う授業におけるタブレット端末の利活用を平成30年度以降に進めていく。

6 業務内容

(1) ICT支援員派遣

市立小中学校26校を訪問し、授業におけるICT活用のサポートを行う。

(2) 集合研修

派遣日の中で、放課後等の時間を利用し、タブレット端末や導入ソフトウェア、電子黒板・プロジェクタ等周辺機器の活用に関する集合研修を行う。

(3) 夏季ICT活用講座

教育研究センターが実施する希望研修「夏季ICT活用講座」の運営（計画・準備・当日の研修）を行う。

(4) 報告書及び授業実践記録の作成と報告について

- ①(1)のサポート内容を学校ごと及び月ごとにまとめた報告書の作成を行う。また、(2)集合研修の実施報告書を学校ごとに作成する。なお、報告書とは別にICT活用の授業実践記録を作成する。

- ②各学校の支援状況を教育研究センターに報告する。

7 要件等について

7.1 ICT支援員派遣

「5 課題」に挙げる内容を踏まえたうえで、各学校のICT活用実践力の向上を目指した提案をすること。ただし、以下の条件を考慮すること。

- (1)市立小中学校26校に週1回以上の支援を行うこと。なお、夏季休業と冬季休業については、派遣を行わないものとする。

- (2)業務時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の8：30～17：00とする。（45分間の休憩を含む）

- (3)派遣の日程については、各学校と調整のうえ決定する。

平成30年4月2日より、受け入れ可能である。希望する学校がある場合は、平成30年4月2日より派遣する。

- (4)各学校でのICT支援員によるサポートが円滑に行われるように、各学校でのICT活用サポート開始前に、サポート内容について各学校と打合せを行うこと。

- (5)普通教室や特別教室などにおけるコンピュータや周辺機器（プロジェクター、実物投影机、電子黒板等）の操作の支援、トラブル対応を行うこと。

- (6)各小・中学校の導入機器については、以下のとおりである。

①iPadmini（各中学校）、iPad（入船小学校）

②Windowsタブレット（入船小学校以外の各小学校）

※①、②ともにMicrosoft Office、ラインズeライブラリアドバンス導入済み。

③Apple TV（iPad及びiPadmini導入校）、ICTカート（電子黒板機能付きプロジェク

タ・提示用ノートPC（指導者用デジタル教科書利用可能）

④タブレット端末用授業支援アプリ（xSync・MetaMoji）

⑤コンピュータ室は授業支援ソフトウェア（SkyMenuPro）、キューブきつず（小学校のみ）を導入済み。

7.2 集合研修

5 課題に挙げる内容を踏まえ、各学校における指導者用デジタル教科書や導入ソフトウェア、タブレット端末、電子黒板・プロジェクタ等周辺機器の積極的な活用につながる研修の提案をすること。また、研修の日程については、6(1) ICT支援員派遣業務開始後に学校と相談のうえ、決定すること。研修時間は、1時間30分から2時間程度とし、最低1回は実施すること。なお、研修内容については、事前に教育研究センターと協議のうえ、学校の希望を踏まえて決定すること。

7.3 夏季ICT活用講座

5 課題に挙げる内容を踏まえ、参加者のICT活用実践力の向上を目指した提案をすること。ただし、以下の条件を考慮すること。

(1) 実施日については、浦安市自己啓発研修重点期間の平成30年8月3日（金）・6日（月）・7日（火）の3日間3講座（1日1講座）の開催とする。また、実施時間は午後1時30分～午後4時30分とする。

(2) 講座内容については、教育研究センターと協議のうえ決定する。ただし、講座内容にタブレット端末活用を必ず入れること。

(3) 講座で使用するテキスト及び例題の作成および必要部数の準備を行うこと。

(4) 会場については、未定だが学校のパソコン室等において実施予定である。

7.4 その他の要件

(1) 報告書については、全体的な傾向や小学校・中学校ごと及び学校別に成果と課題などをわかりやすく記載し、今後の本市におけるICT活用の課題を明らかにすること。

(2) 授業実践記録については、写真を用いて実践の様子が第三者にわかりやすく伝わるようにすること。また、次年度以降、各学校でのICT活用の資料となるように作成すること。

(3) 各学校の支援状況報告の回数やその日程については、教育研究センターと協議のうえ決定すること。

(4) 報告書及び授業実践記録については、紙及び電子データで教育研究センターへ提出すること。また、提出された報告書及び授業実践記録については、浦安市の情報教育推進のために活用するものとする。

(5) 支援員については、教職員と積極的にコミュニケーションを図ることができ、授業におけるICTの活用について質問等に答えられる十分なスキルと教職員に授業の提案・指導ができる人材であること。

(6) 受託者においては、リーダー業務責任者を1名以上設けること。

- (7) スケジュール調整等、学校からの問い合わせに対応する窓口を設けること。
- (8) 受託者においては、児童生徒の情報活用能力育成及び教職員の授業におけるタブレット端末を含むICT活用実践力を高めるための実践事例や指導カリキュラム等を有していること。

8 費用見積

費用見積の様式は特に定めないが、「別紙 見積指定書式」の提出は必須とする。

8.1 ICT支援員派遣費用

打ち合わせや交通費等にかかる経費を含める。

8.2 集合研修にかかる費用

研修会のテキストや打ち合わせ、交通費等にかかる経費を含める。

8.3 夏季ICT活用講座にかかる費用

研修会のテキストや打ち合わせ、交通費等にかかる経費を含める。

8.4 報告書及び授業実践記録作成にかかる費用

報告書、授業実践記録の作成・印刷等にかかる経費を含め、その他必要経費。

9 提案書の構成（記載する内容及び順番）

1 会社概要（A4 1ページ程度）

2 情報セキュリティまたは個人情報保護に関する体制（第三者認証取得状況を含む）
（A4 1ページ程度）

3 提案にあたっての基本的な考え方（A4 2ページ程度）

4 本市の課題に対する提案（A4 3～5ページ程度）

5 ICT支援員派遣要件に対する提案（A4 2ページ程度）

6 集合研修要件に対する提案（A4 2ページ程度）

7 夏季ICT活用講座要件に対する提案（A4 2ページ程度）

8 その他の要件に対する提案（A4 1ページ程度）

9 その他提案事項